

Press Release



2024年4月16日

龍谷大学による Podcast 番組

「ReTACTION Radio ~知とビジネスと仏教の交差点~」

4/16(火)から配信開始

- Spotify <https://open.spotify.com/show/4vAdKDTK8A18FAM8IKhHHO>
- Apple Podcast <https://podcasts.apple.com/us/podcast/id1740669630>
- Amazon Music <https://music.amazon.co.jp/podcasts/e6e489cf-817b-457c-ac4b-e6bf2e29abd2>

【本件のポイント】

- 様々な研究分野の知見がどのように社会実装されているか、日本を変えていくのかを探求する音声コンテンツ
- 龍谷大学が掲げる「仏教 SDGs」を軸に、「利他」の哲学をもって、サステナブルな社会に貢献する研究・人材育成にかかる活動を深掘りする
- 元 NewsPicks 編集長／ノンフィクションライターの泉秀一氏を MC に、研究者へのインタビュー形式で構成



【本件の概要】

龍谷大学（学長 入澤崇）は、ビジネス系の音声コンテンツを数多く生み出す Podcast Studio Chronicle（代表 野村 高文氏 音声プロデューサー／編集者）とのコラボレーションで、Podcast での新番組「ReTACTION Radio（リタクション・ラジオ）～知とビジネスと仏教の交差点～」(以下、ReTACTION Radio)を、4月16日（火）から配信いたします。

「ReTACTION Radio」は、「リベラルアーツ」にフォーカスを当て、研究者へのインタビュー形式で様々な学問分野の知見を探りながら、それがどのように社会に実装されているか、日本を変えていくのかを語っていく Podcast です。

龍谷大学が取り組む「仏教 SDGs」を軸に、「利他」の哲学をもって、サステナブルな社会に貢献する研究・人材育成にかかる活動を紹介するウェブマガジン「ReTACTION」（URL：https://retaction-ryukoku.com/、2021年6月開設）の音声コンテンツ版として位置づけています。

MC はビジネスウェブメディア「NewsPicks」元編集長で、ノンフィクションライターの泉秀一氏が務め、ビジネス視点、社会視点で、多様な研究や教育の現在地、ポテンシャルについて深掘りしていきます。

【ReTACTION Radio 概要】

タイトル ReTACTIONRadio~知とビジネスと仏教の交差点~

放送開始 4月16日(火) ※毎週火曜日に新規コンテンツを配信予定

<第1回放送>

テーマ #01 なぜ「利他の心」が、ビジネスの世界には不可欠なのか？

出演者 深尾昌峰副学長／政策学部教授

<今後の放送予定>

第2,3回「テーマ：ローカルファイナンス」

深尾昌峰副学長／政策学部教授

<https://www.policy.ryukoku.ac.jp/teacher/fukao.html>

第4~6回「テーマ：サービスマーケティング」

藤岡章子教授（経営学部）

<https://www.biz.ryukoku.ac.jp/teacher/fujioka.html>

第7~9回「テーマ：環境DNA」

山中裕樹教授（先端理工学部）

<https://www.rikou.ryukoku.ac.jp/teachers/est16.html>

仏教SDGs ウェブマガジン「ReTACTION」

<https://retaction-ryukoku.com/>



■仏教SDGs

龍谷大学は仏教を建学の精神に持ち、「自省利他」という行動哲学を打ち出しています。自己的な考え方や行動をしてはいないか、常に自分を省みて、他（自然・社会・人）の幸せや利益を追求することを意味します。持続可能な社会をめざす上で欠かせない「自省利他」を礎に社会に貢献できる人や活動を生み出すことが「仏教SDGs」のねらいです。

■ReTACTION

ReTACTIONの「TACTION」は「触覚」を意味します。SDGsを推進するためには、これまでの社会のありようを、疑うことも必要です。今一度（=Re）、感覚を研ぎ澄まし、世界に触れてみれば、持続可能な社会につながるヒントを得ることが出来るかも知れないという意味を持たしています。

また、龍谷大学が掲げる行動哲学「自省利他」は、自らを省みて他を利するという意味です。自己中心的な考え方をあらため、他者の幸せや社会の利益を考え行動することが、社会を再構築するカギになります。

ReTACTIONは「ReTA（利他）」の「ACTION（行動）」という意味も込めています。

以 上